

# モニタリング結果報告書

施設名 : 県立観音崎公園

指定管理者 : 横浜緑地・西武造園グループ

施設所管課(事務所名) : 横須賀土木事務所

(平成23年度 上半期)

## 管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況(1~9の結果を踏まえ、判定してください)

B

- A : 提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。  
B : 提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。  
C : 提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。  
D : 提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

### 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	6月13日	現地調査・月報などで概ね良好に業務が行われていることを確認した。
5月	6月10日	7月25日	現地調査・月報などで概ね良好に業務が行われていることを確認した。
6月	7月8日	8月12日	現地調査・月報などで概ね良好に業務が行われていることを確認した。
7月	8月10日	10月4日	現地調査・月報などで概ね良好に業務が行われていることを確認した。
8月	9月9日	10月28日	現地調査・月報などで概ね良好に業務が行われていることを確認した。
9月	10月7日	11月8日	現地調査・月報などで概ね良好に業務が行われていることを確認した。

### 2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

(指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。)

#### <提案内容の概要>

- ・観音崎の歴史的遺産や貴重な自然資源を保全利用した観光公園づくり
- ・観音崎の特色を活かした海と山にふれあうクリエイションイベント等の充実
- ・観音崎自然博物館、横須賀美術館や、京急ホテルなど周辺施設や周辺地域と連携した観音崎の活性化のための新たな観光資源の開発

#### <実施状況>

- ・観音崎公園は、観音崎をより楽しみ、親しんでいただくために年間約80回のイベントを計画・実施している。
- ・5月うのはな祭り(5/15)、6月アジサイ祭(6/14~6/19)、7月七夕まつり(7/1~7/7)など公園まつりを開催して、多くの方々に来園いただいた。
- ・アジサイ祭は、6月環境月間を考慮し、グリーンフリーマーケット開催やかながわトラストみどり財団の協力を得て、緑の普及啓発を実施した。
- ・8月は、海中観察体験、シュノーケリング教室、ウミホテル発光観察会など観音崎の資源、海を活用したイベントを実施。
- ・9月は、観音崎猿島ガイドツアーを企画し、70名もの応募があったが天候に恵まれず、残念ながら中止となった。
- ・周辺施設の連携については、観音崎自然博物館、横須賀美術館や京急ホテルと毎月1回、公園連絡協議会を開催。各施設の近況報告などの情報交換を行い、各施設で連携するイベントも開催している。
- ・公園連絡協議会を通じて、第5回観音崎写真コンテストを開催。7/1~9/4まで応募を受付。10月に審査会、11月観音崎フェスタにて展示会を開催する予定である。
- ・観音崎の新おみやげ品の“かんのちゃんクッキー”の開発にも取り組んでいる。

### (継続用紙)

- ・近隣との連携については、鴨居幼稚園と七夕飾付の実施（80名）、鴨居中学校総合学習での教鞭「観音崎の自然について」、鴨居小学校グリーンライフ活動参加、消防への放水訓練場所の提供などを実施。
- ・9月は、第2回地域連携懇話会を開催し三軒家砲台群の展示活用方法など公園の歴史遺産のあり方についてワークショップを開催した。

#### <提案内容の概要>

- ・園内の広場や森のロッジを活用し市民ボランティア等と連携した自然、歴史地層のガイドツアーの実施。

#### <実施状況>

- ・今年度4月より公園見回り隊ボランティア”ブルーホークス”が結成され、公園ボランティア団体は6団体となった。4/17、第1回目の活動は、神奈川県警を招いての発足会となり、合同パトロールを実施した。
- ・公園案内ボランティア フィールドレンジャーによる、自然・歴史・地層ガイドツアーを毎週日曜日及び祝日に開催している。第7期生を募集し2名応募があり、現在、研修中である。
- ・わかばの会は水の広場の緑化管理を実施し、植物を守る会は公園内の希少植物の保護復元活動を実施している。
- ・森の手入れボランティアは、ふれあいの森をフィールドとし、照葉樹林、マテバシイ林の間伐し、林床植物の保全や生態系に配慮した管理を実施している。
- ・花のボランティアは昨年結成し、花の広場の花壇を中心に、花苗育種や花壇管理等の活動を継続的に実施しており、地域へ緑の普及啓発を行っている。

#### <提案内容の概要>

- ・環境に配慮した管理運営の取り組み

#### <実施状況>

- ・環境に配慮した管理運営の取組として、エコキャップ運動やグリーンカーテンの設置を実施し環境負荷軽減の普及啓発活動を実施した。また、震災の影響による、噴水や夜間外灯停止など省エネ節電活動に寄与した。4月29日から電気自動車急速充電器の運用を開始し、低炭素化社会の実現に協力している。
- ・生物多様性の配慮として、”トキワツユクサをやっつけよう”を開催し外来種駆除に取り組んだ。草地ビオトープや虫のねぐらの取組を継続的に実施しており、秋口には、生息昆虫のモニタリングを計画している。バタフライガーデンやカブトムシ生育ヤードを設置し、更なる生物多様性の取組を実施している。

#### <提案内容の概要（今後実施予定のもの）>

- ・提案内容は、全体的に着手済みであり、今後はスパイラルアップを図る。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額	108,001	80,220	0	27,781	108,001	0
今期	107,581	79,800	0	27,781	107,581	0
前期						
上(下)半期	57,002	38,332	0	18,670	57,002	0
予算額						
4月	7,220	5,597	0	1,623	5,952	1,268
5月	9,066	6,459	0	2,607	9,285	△ 219
6月	10,199	9,033	0	1,166	10,889	△ 690
7月	9,582	5,866	0	3,716	8,901	681
8月	11,390	5,164	0	6,226	11,459	△ 69
9月	8,128	6,213	0	1,915	9,113	△ 985
今年度	55,585	38,332	0	17,253	55,599	△ 14
半期計						
前年度	61,115	39,612	0	21,503	48,461	12,654
同期計						

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
- ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

300千円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	1,367千円	屋外トイレ浄化槽修繕工事（422千円） 倒木処理工事（945千円）
下半期		
総額	1,367千円	

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	65,000人	64,000人	1.6%
5月	68,500人	87,500人	△21.7%
6月	51,500人	67,500人	△23.7%
7月	68,500人	72,500人	△5.5%
8月	74,000人	91,500人	△19.1%
9月	59,200人	62,000人	△4.5%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計		386,700人	445,000人		△13.1%
今年度下半期計					

#### 利用状況に関する意見等

①今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

#### <意見等>

①5月、6月は週末の天候不順が多かった。8月の海水浴シーズンにおいて公園と隣接する海岸利用客が少なかったため、公園の来園者数にも影響があった。

上半期は、週末に降雨日が多かったことと、大震災や原発事故等による野外レジャーへの風評被害の影響により、公園利用者数が減少した。

②該当なし

#### 5 苦情・要望等の状況

##### 受付件数(うち施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
5月	1 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	4 (0)
6月	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
7月	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
8月	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
9月	4 (0)	6 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (1)
合計	10 (0)	17 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	28 (1)

## 6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・トランポリンのネットが切断されている。	現地調査して使用中止。翌日、職員が修繕した。
	・授乳施設がない。	ビジターセンター研修室を提供した。
	・ビジターセンター前の道路の排水悪い	・現場を確認済み、大雨時に再度排水状況を確認し、今後の対応を検討する。
職員対応	・具合の悪くなった来園者を搬送。	回復したが、自宅まで職員が搬送した。
事業内容	・ホームページの花情報が更新されない。	花の情報を更新。また、ビジターセンターに花情報を掲載した。
その他	・犬の放飼いについて注意してください。	夕方、園内放送による注意喚起、看板設置。
	・ふれあいの森 栗の木広場で連続不審火発生。	消防により鎮火。警察消防と連携して日常パトロール強化した。

## 7 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

⇒該当なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

## 8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

## 9 上半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>台風や大風などの自然災害発生時に対する安全管理（緊急時の連絡や初期対応の報告）を適切に行うことができた。また、公園利用促進のためのイベントを開催し集客向上に努めている。市民ボランティア、公園関係機関との調整や地元町内会と連携を図るなど地域活動を活発に行っている。バリアフリー対策や施設の老朽化に対する配慮が今後の課題である。</p>
施設所管課	<p>台風通過後の倒木処理やガラス破損被害時など、事故発生後の処理について、迅速かつ適切な対応を行った。上半期は、大震災後の自粛や海に対する風評被害等の影響により、公園来園者が大幅に減少している中、事業計画に沿って、順次イベントを開催して利用促進に努め、落ち込んだ利用者数の回復に努めていた。また、本年4月より、公園見回り隊ボランティア団体を新たに発足させ、市民協働の公園管理・運営にも力を入れている。今後は、来園者の回復とさらなる増加に向けた利用促進事業等の「イノベーション」に期待したい。</p>